

HAPPY NEW YEAR  
2020



お年寄りから  
子どもまで  
誰もが住みたくなる町  
上田市を!



上田市に社民党長野県連合より義援金をお届けしました。荒井武志県議会副議長（千曲市・埴科郡）、池田清景議（長野市・上水内郡）とともに被災の実情と今後について総務部長と懇談しました。12/19



「上小・東御生活と健康を守る会」の上田市への要望活動に同行しました。生活困窮者支援や高齢者支援など継続した要求を重ねておられることに敬意を表し、議会活動を通じて連帯します。12/23



塩田公民館にて開かれた「環境をよくしたいひと大集合」に参加しました。皆さんの取り組みに脱帽です。  
上田地球を楽しむ会はゼーバック発電（熱エネルギーを電力に変換する方法）の発表をしました。災害時にも発電できる手法が身近にあるのは心強いことです。11/30

## 石合ゆうたを応援する会 ゆうゆう通信第12号

上田市議会議員 <sup>いしあひ</sup>石合ゆうた市政報告です。

新年あけましておめでとうございます。

2020年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。

身近に起きた大災害など過去にない経験もあった昨年でした。

丁寧な振り返りの先に安心が分かち合える新年を願っています。

上田市議会に送り出していただき、無我夢中で取り組んで約二年、任期の折り返しも目前に迫っています。活動の柱である弱き立場、小さな立場のために、道半ばながら見通しの出た点もあります。

新しい年も軸をぶらさず「福祉・多様性・持続可能なまちづくり」に向け、多くの皆様の声を聴き、現実を変えるために挑戦してまいります。叱咤激励を何卒お願いいたします。

※公職選挙法の規定により、年賀状の送付は禁止されています。  
(討議資料)

令和元年度上田市議会 12 月定例会は台風 19 号災害復旧の補正予算案など 34 議案について承認しました。

被災者支援や緊急対応の復旧で専決処分は、計 13 億 5 千万円余。  
最終日提案の本復旧を中心にした一般会計補正 40 億円余、水道事業会計補正 3 千万円余。

全体で約 54 億円という巨額にのぼりました。このほか、数億円の復旧費が必要な見通しが立っているほか、別所線の鉄橋復旧費など今回の予算には計上されていないものもあります。

上田市が開設した指定避難場所に避難された市民の方は、上田市全体で最大で約 2,500 人。また、自治会集会所など自治会が開設した第一次避難場所への避難状況は約 1,300 人という状況でした。

上田市も立地条件などに応じ、指定緊急避難場所の指定の見直しや災害ハザードマップの更新も検討していくとしています。

#### 一般質問

#### 台風 19 号災害を振り返り、避難・避難所のあり方について

問（石合） 「私だけは大丈夫」といった根拠のない自信による逃げおくれの心理状態をあらわす【正常性バイアス】も問題ではないかという市民の声がありますが、今後どのように具体的に避難につなげる行動を呼びかけるべきと考えるのでしょうか。

答（総務部長）平成 31 年に内閣府が危険の度合いによって 5 段階の警戒レベルを導入することを決定したことを受け、市でも、避難情報の判断、伝達基準である上田市避難勧告等の判断・伝達基準を改定し、警戒レベル制を導入するとともに、今年の出水期に合わせて自治会回覧や市のホームページ、広報紙、出前講座等を通じて市民の方へ周知を図ったところです。今回は市内では人命に関わる被害はありませんでしたが、逃げおくれによる犠牲者が発生しないように、今後も機会を捉えて、引き続き啓発を図ってまいります。

発 行：石合ゆうたを応援する会  
発行責任者：中村喜嗣郎  
住 所：上田市住吉 2863-10  
電 話：0268-23-3482  
FAX：0268-55-3561  
メール：[ishiai.yuta.2015@gmail.com](mailto:ishiai.yuta.2015@gmail.com)

## 生活保護行政と生活困窮者支援について

問（石合）生活保護利用にあたり自動車保有を広く認めることは生活維持及び自立の助長に効果があると考えますが市の考えはどうか。

答（福祉部長）自動車を保有する場合には、自動車が一定の処分価値を有する場合があること、また燃料費はじめ高額の維持費の発生すること、さらに生計費が限られていることから、任意保険に加入できず事故の際の対応が困難ということもあります。

厚生労働省指針、その他の条件や課題を総合的に勘案してその可否を適切に判断していきたいと考えます。

## 第27回全国山城サミットについて

問（石合）来年2020年10月31日～11月1日にかけて全国山城サミットの上田地域での開催が決まりました。市長の思いはいかがでしょうか。

答（土屋市長）全国山城サミット開催という市民の自発的、自主的な活動に対し市としても全力で支援するに、地域の企業の皆様や個人の方にもサミットに向けた取り組みに参加していただけるよう機運の醸成に取り組みます。

また、上田地域は全国的に見ても有数の山城密集地域と言われています。

個々の山城という点と点をつなぎ、その中心に上田城を置いて面として考えたとき、地域が誇るべき戦国武将村上氏、真田氏の領地拡大のための戦略や、またその背後に見える武田氏や上杉氏、そして徳川氏との攻防の足跡が思い描かれます。そのことから来年の全国山城サミットでは、山城を関連させることで上田城の新たな魅力発信にもつなげていきたいと考えています。

## 請願審査について

**請願第3号「上田市が発注する印刷物に関する請願」（継続審査分・上田印刷工業組合提出）⇒採択**

※石合議員は、事業者の著作権取り扱いについて明確にする項目について賛成するも、設備に応じた印刷物の指名・発注に関する項目については業界団体非加入業者に生じる影響の調査が十分でないことから現段階での採択は難しいと一部採択を主張しました。

**請願第4号「免税経由制度の継続を求める請願」（菅平旅客索道協会提出）**

全会一致で国への意見書を出すことが確認されました。



## 【 近 況 報 告 】

### 【10月】

- 2日 9月定例会閉会日
- 3日 千曲バス様と懇談
- 4日 上田市人権市民のつどい、大久保自治会人権教育懇談会
- 5日 神科小学校運動会、神科まちづくり委員会行政懇談会、金井自治会人権懇談会
- 8日 神科まちづくり委員会防犯・防災部会視察（新潟県小千谷市）
- 9日 森林・林業・林産業活性化議員連盟勉強会
- 10日-11日 上田市東御市真田共有財産組合議会視察（小諸市、東京都江東区、山梨県身延町）
- 18日 知的財産権セミナー
- 19日 木質バイオマス勉強会、立正大学同窓会、上田城流鎗馬反省会
- 28日-29日 姉妹都市鎌倉市親善訪問
- 30日 農政議連と農業委員会役員の皆さんと懇談

### 【11月】

- 1日 総務文教委員会協議会、上田市社会福祉大会
- 2日 全国山城サミットプレ大会
- 3日 砥石・米山城まつり
- 5日 上田市東御市真田共有財産組合議会
- 8日 砥石・米山城まつり反省会、上小地区労組会議定期大会
- 9日 全国山城サミット（岐阜県可児市）
- 10日 蚕都くらぶ・ま〜ゆ総会
- 15日 佐久地区労組会議定期大会、千曲バス減便地元説明会（豊殿会場）
- 16日 上田地球を楽しむ会上田原合戦ツアー、神科ソフトボールリーグ納会
- 18日 議会運営委員会（傍聴）、城南公民館講座
- 22日 公共交通活性化協議会、上田市功労者表彰式
- 23日 上田市丸子農産物直売加工センター「あさつゆ」えだまめの会お手伝い
- 24日 NPO大集合
- 25日 12月定例会開会日、総務文教委員会
- 26日 上田市戦没者追悼式
- 27日 千曲高校バリアフリー調査同行
- 28日 会派代表者会議（オブ参加）
- 30日 環境をよくしたい人大集合

### 【12月】

- 1日 大久保自治会しめ縄づくり講習会
- 2日-4日 議会一般質問
- 6日 総務文教委員会審査
- 7日 学童保育所バッタの家餅つき、ユニバーサルツーリズム講演会（安曇野市）
- 8日 若年健診、桜を見る会追及国会議員の話を聞く会（藤野保史議員）、大久保自治会役員忘年会
- 9日 大久保柏寿会特別公演
- 12日 青少年サポーター研修会（塩尻市）
- 13日 議会政策討論会、長野大学小岩井先生ゼミの皆さんと四時会の皆さんと交流
- 15日 認知症当事者・家族の方々などのための「〇〇カフェやすらぎ」
- 16日 12月定例会閉会日
- 19日 上田市に社民党による義援金お届け
- 21日 桜を見る会追及国会議員の話を聞く会（杉尾秀哉議員）
- 22日 別所線チャリティーコンサート秋場隆浩さん
- 23日 上小・東御生活と健康を守る会の上田市への要望に同行
- 24日 総務文教委員会懇談（長野大学について）、自治労上田市職労役員会
- 26日 外国人集住都市会議
- 27日 会派代表者会議（オブ参加）
- 31日 大久保自治会柏山武事神社二年詣り

### 【編集後記】

16歳の環境活動家、グレタ・トゥーンベリ（スウェーデン）さんの政治や温暖化対策批判に気がかかれています。

災害の多発や大規模化も気候変動による影響が大きいことははっきりしています。

長野県でも11月定例県議会で阿部知事が「気候非常事態」を宣言し、この中で「2050年二酸化炭素排出量実質ゼロ」を決意しています。

この宣言の中にうたわれている徹底的な省エネルギーと再生可能エネルギーの普及拡大の推進、さらにはエネルギー自立分散型で災害に強い地域づくりはこれからの時代の中で必須のことです。危機感をもち、向き合っていきましょう。